

- 1 住みよいまちを力を合わせつくしましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すくれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきざしましょう



## いきいきと心の通ったまちづくりを進めるために

# 「(仮称)向日市市民協働促進基本方針」への提案 中間報告

### コラボレーション研究所からの中間報告

昨年7月に発足したコラボレーション研究所。地方分権の時代に合った市民主体のまちづくりの実現をめざし、「(仮称)市民協働促進基本方針」や「まちづくりセンターの設置」について、これまでに合計11回の会議を重ねてきました。

このほど、具体的な方策を盛り込んだ「『(仮称)市民協働促進基本方針』への提案(中間報告)」がまとまりましたので、市民の皆様からご意見を募集し、市への提案に活かしていきたいと考えています。

意見募集要項

#### ■市民の皆様のご意見をお寄せください

提案の公表方法 / 1月17日(月)から、中間報告の全文を向日市ホームページ(<http://www.city.muko.kyoto.jp/>)に掲載するほか、市役所1階情報公開コーナーおよび主な公共施設などに置いてあります。  
 意見募集期間 / 1月17日(月)~28日(金)  
 意見提出の方法 / お持ちいただくか郵便、ファックス、電子メール(kenkou@city.muko.kyoto.jp)で政策協働課へお送りください。  
 住所、氏名、電話番号をお書きください。  
 電話での意見提出はご遠慮ください。  
 募集意見の活用方法 / お寄せいただいたご意見については、コラボレーション研究所で検討し、3月末に市に提出する「『(仮称)市民協働促進基本方針』への提案」に活用させていただきます。



活発な意見交換が行われる(第3回懇談会から)

### 「(仮称)向日市市民協働促進基本方針」への提案 中間報告

#### 1. 私たちのまちづくりへの思い

コラボレーション研究所は、「地方分権の時代に個性豊かなまちづくりを進めるためには、市民同士の協働や市民と行政、企業との協働が必要とされている。そこで協働(コラボレーション)について研究しよう」という呼びかけに、12人の研究員(学識経験者1人、市民6人、市職員5人)が集まったものです。

##### ■市民協働が必要とされるのはなぜか

- (1) 市民や市民活動の成熟化が進んでいます
- (2) 地方自治体で政策決定する権限や責任が市民や企業にも広がっています
- (3) 市民ニーズが多様化しています

#### 2. 向日市のまちづくりの現状と課題

##### ■協働に向けた向日市の現状

活発な活動は、市民と行政、企業などの相互の連携や協力があれば、もっと輝きそうです。

市民と行政、企業などが意識を共有したり、同じ目線で物事に取組もうとしたりする考え方や活動が広がっています。

#### 3. わたしたちは協働をこう考えます

##### ■向日市における「協働」とは

いきいきとした心の通った向日市のまちづくりを進めるため市民(個人・団体)や行政、企業などが「自分たちで向日市をいっよちにしていくんだ」という自覚を持ってお互いに協力していくこと

#### 4. 協働を進めるための基本的な考え方

##### 1 情報を共有しましょう

市民と市民、市民と行政の協働 = コラボレーションを進めていくためには、それぞれが目的や役割・責任を認識することが必要ではないでしょうか。そのためには、まず情報を共有していくことを提案します。

##### 2 交流を進めましょう

充実した市民活動も、単独ではその範囲や効果は限られたところにとどまりがちです。日常的、身近なところから市民同士、グループ同士、市民と行政とが積極的に交流し、協働への信頼関係を築いていくことを提案します。

##### 3 コーディネート機能を高めましょう

多種多様な市民活動や行政の取組みを結びつけ、より高い協働の効果を得るために、それぞれの活動や人と人、団体と団体を結びつけ、その連携を支援するコーディネートの機能をつくっていくことを提案します。

##### 4 ワンストップ機能を高めましょう

「何かしたいがどうすればいいのかわからない」という人やグループのために、どんなテーマでもまず相談を受ける窓口となり、またあらゆる情報が集まる向日市のまちづくりの拠点となる、ワンストップ機能を充実させていくことを提案します。

#### 5. 協働を進めるための方策の提案

##### 1 情報の共有を進めるための方策

- (1) 市民活動の情報受発信
- (2) 市民の情報受発信力の向上
- (3) 活動成果の発表機会づくり

##### 2 交流を促進するための方策

- (1) 日常的な交流の場づくり
- (2) 交流・協働支援制度の設置
- (3) 身近な地域の人材活用の仕組みづくり

##### 3 コーディネートを進めるための方策

- (1) 協働で取り組むまちづくり課題の把握
- (2) コーディネーターの育成
- (3) コーディネーター組織の育成・確立

##### 4 ワンストップサービスを提供するための方策

- (1) 協働・まちづくり相談窓口の設置
- (2) 行政の協働・まちづくり相談担当の充実
- (3) 市内組織情報ネットワークの構築

##### 5 (仮称)まちづくりセンターの設置提案

- (1) まちづくりセンターに果たしてほしい役割  
 情報発信、啓発、PR機能  
 ・まちづくりへの取組みやイベントの紹介・案内  
 交流促進・支援機能  
 ・団体活動の発表会・報告会など連携の仕掛けづくり  
 連携コーディネート機能  
 ・市内の活動団体同士の取組の仲介・連携提案  
 市内活動情報のワンストップ窓口機能  
 ・まちづくりテーマの告知・掲示、人材・団体の仲介

##### まちづくり井戸端会議の機能

- ・あらゆる市民がオープンに話し合える場  
 まちづくり活動支援機能  
 ・市民によるまちづくり活動やマニュアルづくりの支援(つくり方の指導など)
- (2) 今後の検討課題  
 運営の目的・目標  
 運営体制、運営の仕組み  
 段階的な充実・発展の考え方

##### ■語句説明

【コーディネート機能】 様々なことを調整し、物事が円滑に進むように調和を図ること。ここでは、市民や行政、企業などまちづくりにかかわる人や組織の交流を仲介したり、共同事業への参加を呼びかけたりすること。

【ワンストップ機能】 まちづくりの情報が集まって、情報受発信の拠点となったり、まちづくりについて相談したいときに、どんなテーマでもまず受け皿となって話をすることのできる、まちづくりの総合的な受付・窓口の機能のこと。

お問い合わせ コラボレーション研究所事務局  
 政策企画室政策協働課(内線280)

# インフォメーション



## 市の催し・サービス情報

講座・スポーツの催し、サービスの案内など、市からのお知らせを中心に掲載しています。

向日市役所への電話でのお問い合わせは、☎931 1111(代表番号)にお掛けください。担当課におつなぎします。  
向日市役所への(ファックスは☎922 6587、郵便物は〒617 8665 向日市役所)、Eメールはinfo@city.muko.kyoto.jp)にお送りください。  
ファックス、郵便物、Eメールには、市役所のどこの課(担当課名)へのかを記入ください。  
参加費などの記載がないものは無料でご参加いただけます。

☎ = お問い合わせ、HP = ホームページアドレス

## EVENT INFORMATION

### 催し情報

#### まちづくり

### 乙訓地域のあり方を考えるシンポジウム

これからの「まちづくり」をはじめとする乙訓2市1町(向日市・長岡京市・大山崎町)のあり方と市町村合併について、シンポジウムを開催します。

日時 / 2月11日(祝) 午後1時30分～4時30分

場所 / 長岡京市中央公民館市民ホール

対象 / 乙訓2市1町在住・在勤でまちづくりに関心のある方

内容 / 講演「これからのまちづくりと市町村合併」新川達郎さん(同志社大学大学院教授(総合政策科学研究科長))

パネルディスカッション「これからの乙訓を考える」各種団体および行政代表

主催 / 乙訓市町会、乙訓市町議会議長会、京都南部地域行政改革推進会議乙訓地域分科会  
☎政策協働課(内線280)

#### 講座・教室

### 就学前児童交通安全教室



日時 / 1月20日(木)

1部(幼稚園・一般)

...午前10時30分～

2部(保育所・一般)

...午後1時30分～

場所 / 市民会館ホール

対象 / 向日市内の幼稚園・保育所に在籍および一般の5歳児

主催 / 向日市、向日市交通対策協議会、京都府向日町警察署、乙訓交通安全協会

☎環境政策課市民安全係(内線235)

### 健康教室

日時 / 1月19日(水) 午前10時30分～正午

場所 / 向陽苑(上植野町五ノ坪1 2)

対象 / 向日市在住の60歳以上の方20人

内容 / 転倒・骨折予防教室「活き活き健康体操」

講師 / 横井由美さん(京都府健康体力づくり協会講師)

持ち物 / フェイスタオル

申込み / ケアセンター回生在宅介護支援センター(☎934 6887)、向日市社会福祉協議会在宅介護支援センター(☎921 1550)、在宅介護支援センター向陽苑(☎921 4100)のいずれかへ申込み。

定員になり次第締切ります。

動きやすい服装でご参加ください。

### まなぼうや講座「ひなびょうぶ」

日時 / 1月29日(土) 午後1時30分～4時

場所 / 中央公民館

内容 / ひなまつりのミニびょうぶ作り

講師 / 大林礼子さん(人材ほっとバンク登録)

対象 / 成人20人

参加費 / 700円(材料費含む)

持ち物 / 絵の具(顔彩・水彩) 筆、筆洗い、古タオル

申込み / 1月24日(月)までに、向日市生涯学習推進サークル「まなぼうや」事務局・教育委員会生涯学習課(内線322・324)へ。定員になり次第締切ります。

### まなぼうや講座「フラワーデザイン教室」

日時 / 2月5日(土) 午後1時～3時30分

場所 / 中央公民館

内容 / バレンタインデーのハート型ブーケを作ります。

講師 / 藤田恵子さん(人材ほっとバンク登録)

対象 / 成人25人

参加費 / 1,500円(材料費含む)

持ち物 / はさみ、ペンチ、持ち帰り袋

申込み / 1月28日(金)までに、向日市生涯学習推進サークル「まなぼうや」事務局・教育委員会生涯学習課(内線322・324)へ。定員になり次第締切ります。

### ヘルスサポーター21養成講習会

日時 / 2月8日(火) 午前10時～午後2時30分

場所 / 保健センター

内容 / 調理実習、運動、向日市健康かるた遊び

持ち物 / エプロン、三角巾、タオル、筆記用具

募集人数 / 30人

申込み / 1月25日(火)までに電話で健康推進課保健予防係(内線339)へ。

主催 / 向日市食生活改善推進員協議会

☎健康推進課保健予防係(内線339)

### 乙訓農業大会

日時 / 2月2日(水) 午後2時～4時

場所 / 市民会館ホール

内容 / 講演「生涯現役で農業人生を健やかに送るために」林達也さん(京都大学大学院人間・環境学研究科助教授)

申込み / 当日会場受付

☎乙訓都市農業振興協議会事務局(京都府京都乙訓農業改良普及センター) ☎315-2906

### 男女共同参画条例づくりのためのワークショップ

日時 / 1月29日(土) 午後2時～4時10分

場所 / 市民会館

対象 / 向日市在住・在学・在勤の方、または向日市内で活動しているグループ・団体の方60人

講師 / 上杉孝實さん(京都大学名誉教授)

☎政策協働課(内線280)

#### 文化・芸能

### 図書館開館20周年記念特別展

#### 渡邊 武追悼展「椿の文化財」

図書館へ数々の椿に関するコレクションを寄贈され、昨年亡くなられた渡邊 武先生をしのび、寄贈された「渡邊 武コレクション」の中から、書や絵画、陶磁器など約80点を展示します。



日時 / 2月2日(水)～13日(日)

午前10時～午後5時(7日(月)の休館日を除く)

☎図書館 ☎931-1181

#### スポーツ

### ワイワイサタデースポーツ第3クール

日時・場所 / 1月29日(土) 2月5日(土) 午前10時～正午、向陽小学校

2月12日(土) 午前10時～正午、第5向陽小学校

対象 / 小学生以上20～30人

開設教室種目 / キックベース(小学生・保護者)、バドミントン(小学3年生～大人)、卓球(小学3年生～大人)

キックベース(小学生・保護者)、ショートテニス(小学3年生～大人)、卓球(フリー、指導者なし)

サッカー(小学生・保護者)、ドッジビー(フリスビーを使ったドッジボール:小学生・保護者)

参加費 / 1日につき1人子ども200円、大人300円(当日支払い)

持ち物 / 体育館種目は体育館シューズ。必要に応じてラケットなど貸出しあり)

申込み / 1月17日(月)から総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会事務局・教育委員会生涯学習課(内線325)へ。定員になり次第締切ります。

# 公民館クラブ学習発表会

公民館で自主的に活動しているクラブ・サークルが、今年も盛んに学習の成果を発表します。

#### 展示発表の部

物集女公民館 ☎921-0048 2月5日(土)・6日(日) 編物、書、ペン習字、生花

寺戸公民館 ☎933-0031 2月12日(土)・13日(日) 油絵、俳画、ちぎり絵、書、生花、編物、俳句、パッチワーク、料理 お茶席

森本公民館 ☎931-1183 2月19日(土)・20日(日) 書、生花、フラワーアレンジメント(その他舞台発表あり) コーヒーコーナー

上植野公民館 ☎921-0012 2月26日(土)・27日(日) 編物、水引細工、絵手紙、生花、パッチワーク、手話

鶏冠井公民館 ☎921-0063 2月26日(土)・27日(日) 生花、ハーモニカなど お茶席

中央公民館 ☎932-3166 3月5日(土)・6日(日) 油絵、水彩画、墨彩画、書、ペン習字、文芸、写真、生花、社会探歩記録、ハーブ

各会場とも土曜日は、午前10時～午後4時。日曜日は、午前10時～午後3時

お問い合わせは、各公民館へ。

#### 舞台発表の部

日時 / 3月13日(日) 午前10時～午後4時

場所 / 市民会館ホール

プログラム

【午前の部】合唱・合奏

【午後の部】謡曲、体操、民謡、詩吟、舞踊

お問い合わせ 中央公民館 ☎932-3166

### 水泳記録会

日時 / 3月13日(日)午前9時～午後2時  
 対象 / 25m以上泳げる方300人  
 開催種目 / 個人メドレー(100m)、自由形(25m・50m・100m)、平泳ぎ(25m・50m・100m)、背泳ぎ(25m・50m・100m)、バタフライ(25m・50m・100m)、フリーリレー(100m・200m)、メドレーリレー(100m)  
 各種目とも年齢別、男女別に行います。リレー種目は、男女混合チームでの参加もできます。  
 参加費

| 測定種目 | 1種目  | 2種目  | リレー種目 |
|------|------|------|-------|
| 一般   | 350円 | 600円 | 600円  |
| 中高生  | 250円 | 450円 |       |
| 小学生  | 200円 | 300円 |       |

申込み / 所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加費を添えて直接お申込みください(代理人可)。申込後の参加費の返却はできませんのでご了承ください。郵送での受付はできません。定員になり次第締切り。  
 申込期間 / 1月22日(土)～2月20日(日) 向日市在住の方は、1月15日(土)から先行受付)  
 〇市民温水プール ☎931-5277

### SERVICE INFORMATION

### サービス情報

### 介護者支援金

65歳以上で要介護度「3・4・5」の高齢者を在宅で介護されている方に介護者支援金として年額3万円を支給します。  
 対象 / 次の要件のいずれも満たす方が対象になります。  
 平成17年2月1日現在、高齢者、介護者とも向日市内に住所を有する方  
 介護保険の要介護状態区分が「要介護3・要介護4・要介護5」の65歳以上の高齢者を在宅で介護されている主たる介護者  
 ただし、次の場合は対象になりません。  
 平成16年7月に申請し、支給を受けた方  
 平成17年2月1日に要介護高齢者が特別養護老人ホームなどに入所されている場合  
 平成17年2月1日に要介護高齢者が病院もしくは介護老人保健施設などに引き続き3か月を超えて入院や入所されている場合  
 平成17年2月1日以前の3か月間において、要介護高齢者が在宅介護を受けた期間が20日に満たない場合  
 申請期間 / 2月1日(火)～15日(火) 土曜日・日曜日・祝日を除く)  
 持ち物 / 振込口座のわかるもの(郵便局を除く)、介護保険の被保険者証  
 支給時期 / 平成17年3月31日(木)  
 〇障害者高齢者支援課サービス係(内線327)

### 社会保険(国民年金など)相談会

国民年金・厚生年金などの相談会です。手続き・保険料の支払いもできます。  
 日時 / 2月2日(水)午前10時～午後3時  
 場所 / 市民会館  
 〇京都西社会保険事務所 ☎315-1881

### 介護者のつどい

日時 / 2月17日(木)午前11時～午後2時  
 場所 / 中国料理「翠扇」  
 内容 / 昼食・懇談会  
 対象 / 向日市在住で寝たきりや痴呆、片麻痺、難病など的高齢者を在宅で介護しておられる方  
 定員 / 25人  
 参加費 / 500円(当日徴収)  
 申込み / 1月17日(月)から向日市社会福祉協議会地域福祉係 ☎932-1961へ申込み(土曜日・日曜日・祝日を除く)。定員になり次第締切り。

### 2005年農林業センサスが実施されます

農林水産省では、平成17年2月1日現在で、「2005年農林業センサス」を実施します。この調査は、我が国の農林業・農山村地域の実態を明らかにする最も基本的な調査です。  
 1月中旬から調査員が農林業関係者の方々に訪問しますので、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いします。  
 調査票に記入された事項は、統計以外の目的には使用されませんので、ご協力をお願いします。  
 〇情報統計課情報公開係(内線369)

### 「ふるさと向日市のカルタ(仮称)」の募集

身近な史跡や自然、伝統文化などなど、句(5.7.5)や歌(5.7.5.7.7)に詠んで、さし絵を添えて、カルタにしてみました。みんなで向日市のカルタを創作しましょう。  
 申込方法 / ハガキの裏に、向日市内やそのまわりの歴史や風景、伝統文化やお祭り、先人(たとえば資料館に展示している人物など)のことを句や歌にして、それに関連するさし絵もかいて、文化資料館にお送りください。郵送でも直接お持ちいただいても結構です。  
 募集期間 / 2月28日(月)まで  
 申込先 / 〒617-0002 寺戸町南垣内40-1 文化資料館「ふるさと向日市のカルタ(仮称)」係  
 ハガキの表に、必ず、住所・氏名・年齢(児童・生徒の場合は学校名・学年)・電話番号をお書きください。  
 集まった作品は、2月5日(土)から3月30日(水)の間、図書館・文化資料館ホールで展示します。  
 作品は返却しません。また、作品を館のお知らせなどに載せることがあります。  
 〇図書館 ☎931-1181、文化資料館 ☎931-1182

### きらっと手づくり「陽だまり庵」が開店


乙訓地域の障害者施設や共同作業所が協同で運営する「陽だまり庵」がライフシティ東向日内(阪急東向日駅前)に開店しました。  
 店内では、さをり織りをはじめ、ビーズ小物、木工製品、手すき紙など、施設の利用者が手づくりで作った温かみのある製品を販売しています。また、喫茶コーナーもありますのでご利用ください。  
 開店時間 / 毎週月・火・水・金曜日午前10時～午後4時  
 〇乙訓障害者施設連絡協議会事務局(乙訓若竹苑) ☎954-6501

### 予防接種

■ツベルクリン 1月25日(火)午後2時～3時20分  
 ■BCG 1月27日(木)午後2時～3時20分  
 場所 / 保健センター  
 〇子育て支援課母子保健係(内線333、338)

### コミュニケーションコーナー

市民の情報掲示板



市民の方から寄せられた「会員募集」「催し」などの情報を掲載しています。詳細については、各問い合わせ先にお訪ねください。

### 書道クラブ

楽しく美しい字を書いてみませんか。  
 日時 / 毎月第1・第3金曜日、午前10時～正午  
 場所 / 寺戸コミュニティセンター  
 〇浜田さん ☎922-0559、杓野さん ☎921-9655

### バザー用品提供のお願い

新品の家庭用品の提供をお願いします。(古着・家具・電化製品はご遠慮いただいています)作業所前でバザーを行っていますので、お立寄りください。  
 日時 / 毎月第1土曜日、午前10時～午後3時  
 場所 / 共同作業所前(上植野町吉備寺)  
 〇共同作業所 友愛印刷(土曜日・日曜日・祝日を除く午前9時～午後5時) ☎932-4001

## 文化財防火運動

1月23日(日)～29日(土)

「文化財を火災から守ろう」

1月26日(水)は、第51回文化財防火デー

### 文化財消防訓練


日時 / 1月26日(水)午前10時～  
 場所 / 北真経寺

乙訓消防組合向日消防署・向日市消防団  
 向日市教育委員会

## 防災とボランティア週間(1月15日～21日) 防災とボランティアの日(1月17日)

平成7年1月に発生した「阪神淡路大震災」で、災害時のボランティア活動の重要性が認識され、1月17日を「防災とボランティアの日」、1月15日から21日までを「防災とボランティア週間」と決めました。  
 この期間中、関係機関で災害時のボランティア活動や自主的な防災活動の普及を図る取組が行われています。  
 〇環境政策課市民安全係(内線235)

### 防災ロビー展



期間 / 1月17日(月)～21日(金)  
 場所 / 市役所本館1階ロビー  
 展示物 / 震災写真パネル、災害非常用食料、保存水、防災グッズ、京都府西南部活断層地図など

### 被災地のボランティア活動の際次のようなことを心掛けましょう



- 自分の体調を整える  
 現地入りする前の日は、ゆっくり休み、万全の体調で臨みましょう。
- 自給自足の装備をしておく  
 活動しやすい安全な服装や靴で出かけましょう。また、自給自足の装備が必要です。携帯ラジオのほか、雨具やセーターなど悪天候や寒さ対策も忘れずに。食料や水も、備えていきましょう。
- 活動する場所を決める  
 行く前に、現地のボランティア窓口などに問い合わせ、現地の状況やボランティアのニーズなどを確認し、自分が活動する場所を決めましょう。
- 被災者の気持ちを最優先に考えて行動する  
 被災地にいることを十分認識し、被災者の心を傷つけたりすることがないように、言動にも注意を。

### 悪質商法にご用心

### 消費生活 CONSUMERS

#### Case 10 トイレ詰まりの修理が…20万円も?

##### 事例

トイレの排水が詰まったので、ポストに入っていたチラシ(シール)の業者に電話をして修理をしてもらった。修理に使用した部品は、パッキンだけなのに、修理代金20万円を請求された。あまりにも高いと思ったので、市内の水道業者に尋ねたら「1万円もかからないでできる」と言われた。仕事内容、金額も納得いかない。

##### アドバイス

トイレの詰まりや水道管の水漏れで、あわててしまって、ポストに入っていた「丁寧・低料金・24時間対応」などをうたい文句にしているシールやチラシの業者に修理を依頼し、高額な修理代金を請求されたという苦情が増えています。

消費者が自ら業者を呼んで契約を結んだ場合は、「特定商取引法」のクーリング・オフ制度が適用されないので充分注意してください。

トラブルを避けるため、「緊急修理」であっても、必ず事前に見積書を取り、充分説明を聞くなど、修理内容を確認をし、高額過ぎたり、過剰な修理をされそうときは、勇気を持って断ることが必要です。

向日市内で、トイレや水漏れに関するトラブルが発生した場合は、まず下記のところへお問い合わせください。

向日市水道メンテナンス ☎921 3030(24時間対応)

向日市指定上下水道協会組合 ☎921 2953(月曜日～金曜日午前9時～午後5時)



ご相談ください  
**消費生活相談**

毎週水曜日・午前10時～午後4時 毎週月・金曜日・午後1時～4時  
市民相談室

お問い合わせ 環境政策課市民安全係(内線249、235)



### BOOKS INFORMATION 新着図書のご案内

#### PICK UP

【児童図書】



わにわにのお風呂  
小風さち文 山口マオ絵  
福音館書店

わにのわにわにはお風呂が大好き。きゅるきゅるきゅるり、蛇口をひねります。じゅまじゅまじゅま、お湯がたまります。そしてお風呂によしのぼります。ずるずるずるずる、じょろろん

#### 一般図書

- 「わがまま」のすすめ 堺屋太一著 東京書籍
- 代数幾何学 広中平祐講義 森重文記録 京都大学学術出版会
- 検証!日本の食卓 私たちは何を食べているのか? 産経新聞社会部編 集英社
- 桂離宮 修学院離宮 京都新聞出版センター編 京都新聞出版センター
- テレビの嘘を見破る 今野勉著 新潮社
- はじめてのカルトナージュ 紙で作るフレンチテイストの雑貨小もの 北野三希代著 日本ヴォーグ社
- 古代文字が書ける、読める、描ける! 斎藤悠貴著 明日香出版社
- 落花は枝に還らずとも上・下 会津藩士・秋月悌次郎 中村彰彦著 中央公論新社
- 散る。アウト 盛田隆二著 毎日新聞社
- 「話して考える」と「書いて考える」 大江健三郎著 集英社
- 背信 ロバート・B・パーカー著 早川書房
- ぼくの不思議なダドリーおじさん バリー・ユアグロー著 白水社

#### 児童図書

- 信州自然と学びのガイド 増村征夫著 岩波書店
- なぞの渡りを追う オオヒシクイの繁殖地をさがして 池内俊雄著 ポプラ社
- ともたちは海のにおい 工藤直子作 長新太絵 理論社
- ブルーローズの謎 松本祐子作 小峰書店
- うそか?ほんとか?基本紳士の大冒険 山下篤作 理論社
- シンドバッドの冒険 斉藤洋訳・著 偕成社
- 犬ぞりの少年 J・R・ガーディナー作 文研出版
- 天オコロギニューヨークへ ジョージ・セルデン作 あすなろ書房
- オーじいさんとチーばあさんの春・夏・秋・冬 松居スーザン作 杉田比呂美絵 ひさかたチャイルド
- だからそっとおやすみなさい マーガレット・ワイス・ブラウン文 ガース・ウィリアムズ絵 講談社
- つきよのぼうけん エンゲルグ・アーティゾニ文 エドワード・アーティゾニ絵 徳間書店
- ルーシーとえがおの歯医者さん ワニのアリステール フロランス・グラジア文 イザベル・シャルリー絵 アシェット婦人画報社

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181

### 見つめなおそう 私の生活

～保健師からのメッセージ～

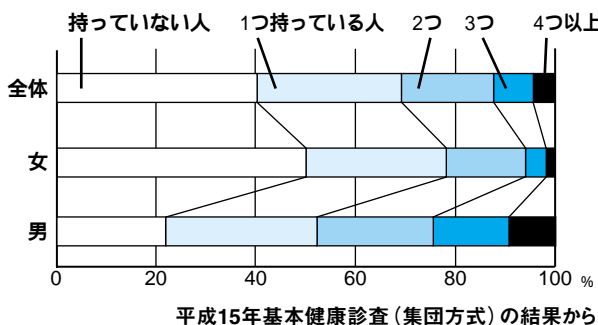
### 健康 HEALTH

#### 10 「けんしん」はからだや生活を映し出す鏡です

みなさんの健康の指標は何ですか。様々なものがあると思います。食欲、便通、「けんしん」結果、身体の身軽さ、ストレスの有無...

その中で、客観的にからだを見ているのが健(検)診です。本市では毎年9,000人前後の方

#### 生活習慣病\*をいくつ持っていますか



生活習慣病とは、基本健康診査でわかる肥満、高血圧、高脂血症、糖尿病、痛風、脂肪肝などのことをいいます。

お問い合わせ 健康推進課(内線339・357)

が基本健康診査を受診しており、受診した方のほとんどが何らかの問題を指摘されています。一人ひとりの健診結果をみると、肥満、高血圧、高脂血症、糖尿病、痛風、脂肪肝などの生活習慣病を2つ、3つ指摘される方がいます。男女別にみると、男性の方が指摘される病状の数が多いことがわかります(グラフ)。

生活習慣病は、1つだけでもその状態が非常にひどかったり、長く続くと脳卒中や心筋梗塞を引き起こす危険性があります。また、その危険性は生活習慣病を複数持つことにより、更に高くなります。生活習慣病を2つ持っている人は、全く持っていない人の5倍、4つ持っている人は35倍にもなるといわれています。

みなさんの健診結果はいかがでしたか。もう一度健診結果をみて、自分自身のからだや生活をふり返ってみましょう。

### むこうし古墳散歩

#### 10 4世紀末～5世紀初めの円墳か?「桓武天皇皇后陵」

### 歴史 HISTORY

これまでご紹介してきたように、向日市内のおもな古墳は、市域北西部に横たわる向日丘陵上にあります。この丘陵には古墳かもしれない大きな塚が、もう一つあります。第6向陽小学校正門の手前120mの道沿いにある「桓武天皇皇后陵」です。

長岡京に遷都した桓武天皇の皇后藤原乙牟漏(おとむろ)の墓として、宮内庁が管理する陵墓に指定されています。



「桓武天皇皇后陵」(伝高島陵古墳) (平成11年2月撮影)

皇后乙牟漏は、桓武の次の平城天皇・嵯峨天皇の生母です。国の正史「続日本紀」には、長岡京期の延暦9年(790)閏3月10日に没し「長岡山陵」に葬られた、とあります。陵墓は、平安時代の中

頃から次第にかえりみられなくなり、「高島陵」とも呼ばれた乙牟漏の墓の場所も、その後わからなくなってしまいました。

江戸時代も後期になると、尊王思想と国学の進展によって、陵墓の考証研究が進みます。高島陵は、幕末には現在の五塚原古墳とされていたことは、このシリーズの第6回すでにご紹介しました。

明治時代に入ると、天皇以外の皇妃・皇子らの陵墓調査も本格化します。その調査の過程で乙牟漏の墓は、明治12年(1879)10月に「寺戸村字大塚」に改定されました。寺戸の大塚、と聞けば寺戸大塚古墳のことか、と思いますが、明治前期の寺戸村小字図に、現在の皇后陵の場所が「字大塚」と記されていることから、五塚原からすぐ現在地へ指定替えされたようです。今のように拝所

や鳥居が設けられ、整備されるようになるのは、この時からあとのことです。

ところで、宮内庁が作成した陵墓測量図や、『向日市史』のため特別に許された墳丘裾への立入調査によって、高島陵の場所は直径約65m・高さ7mの円墳となることが想定されています。

また、この墳丘の北東120mに位置する乾垣内遺跡から、棺に転用された埴輪が発見され、その後の検討によって転用前は4世紀末～5世紀初めの盾形埴輪であったことが明らかにされました。盾形埴輪の年代が、墳丘の年代を示すと考えられることから、高島陵は古墳時代中期の古墳であると推定されました。向日丘陵の主要古墳の一つとして、「伝高島陵古墳」とも呼ばれているのです。(復元された盾形埴輪は1月30日まで文化資料館に展示中)